

# いのちの授業を受けての感想

名前 (横山 颯)

折れない心を持っていのちの授業を受けて  
嬉しみの心や反復の心など  
初めのことがありました。

嬉しみの心は希望と現実の関わり、  
言葉が覚えて残りました。

嬉しみの心も希望と現実の関わり  
の心も初めのこと、反復も初め  
のこと、家の人に教えてくれる  
ことがあった。



この日の授業を受けた感想

名前 ( 田中 遥羽 )

文をきいてよかったです。

文はふとくじなうた

さん<sup>(ある)</sup>きいてよかったです。

これからもおぼえておきたいです。



# この授業を受けての感想

名前 (坂田 真優)

この授業を受けて、苦しみは「希望  
と現実の開き」ということか、苦しみは「解決  
できる苦しみ」と「解決が難しい苦しみ」の  
二つあること、苦しみがあっても「支え」が  
あればおたやがになると知りました。

それになやんでいる人には、反復した  
ら相手に「分かる」と思ってくれること  
を知りました。

これからは、苦しい時支えになる関係を、将  
来の夢なども大切にしようと思っ  
ました。



# いのちの授業を受けての感想

名前 ( 坂倉太 )

今日はいのちの授業を受けて、  
苦るしみは解決できる苦るしみ  
と解決できない苦しみがあると知  
りました。解決できる苦しみは「朝走  
けるのが苦手」だったら「早く寝る  
ことで対処できるが解決ができない  
苦るしみは、何でも対処できるもの  
は「なにか反復を使うことで対処できる  
可能性」があることを知りました。苦しん  
でいる人へのせし方は相手の言いたいことを聞いて相手の

言いたい事を言葉にする。その後言葉にして相手に  
返すことの方がいい。苦しんでいる人は自分の気持ちも相手に  
伝えることが大切だ。



